

研究発表プログラム

口頭発表時間
発表 9分以内
質問 3分以内

ポスター発表時間
1時間30分以内

10月8日(水)
< A会場 >

9:30 ~ 12:00
口頭発表

氷河,氷床(座長 矢吹裕伯 齋藤隆志 門田勤)

- | | | |
|-------|--|---|
| A1-1 | 中国祁連山,七一氷河の表面アルベドと表面汚れ物質の特性 | 竹内望 ^o (地球研), 松田好弘・坂井亜規子・藤田耕史(名大) |
| A1-2 | アルタイ山脈の氷河における雪氷微生物を用いたアイスコア解析 | 植竹淳 ^o ・幸島司郎(東工大), 中澤文男(名大), 河野美香(極地研), 亀田貴雄(北見工大), 鈴木啓助(信大), 藤井理行(極地研), 藤田耕史(名大), 竹内望・中尾正義(地球研) |
| A1-3 | カナダ, マウントローガンにおける雪氷コア解析 | 東久美子 ^o (極地研), 瀬川高弘(東工大), 白岩孝行(北大低温研), 的場澄人(環境研), 金森晶作(北大低温研), 藤井理行(極地研) |
| A1-4 | モンゴルにおける近年の氷河変動について(序報) | 門田勤(地球観測フロンティア) |
| A1-5 | ブータン王国ルナナ地方における調査の概要とルゲ氷河湖の観測 | 山田知充 ^o ・佐藤成行(北大低温研), 幸島司郎・瀬川高弘・植竹淳(東工大), 内藤望(広島工大), 鈴木亮平(名大), Karma(Geological survey of Bhutan), 知北和久(北大) |
| A1-6 | 生態氷河学とアジアの水資源 - 共生の視点から - | 伏見碩二(滋賀県立大) |
| A1-7 | 氷河湖のカービングによる拡大開始時期について | 坂井亜規子 ^o (名大環境), 西村浩一(長岡雪氷防災研), 山田知充(北大低温研) |
| A1-8 | Post - physical glacier theory: concepts, principles and prospects | Serguei A. Tchoumitchev (Graduate School of Environmental Earth Science, Hokkaido University) |
| A1-9 | Evolution of a channel in a cold glacier: a numerical approach | E.V. Isenko (Institute of Low Temperature Science, Hokkaido University/Institute of Geography of Russian Academy of Science), B.R. Mavlyudov (Institute of Geography of Russian Academy of Science) |
| A1-10 | 氷床・氷帽浅層部における結晶方位分布の発達過程と互層構造 | 奥山純一 ^o (北大地環研), 藤田秀二(極地研), 本堂武夫(北大低温研) |
| A1-11 | 第43次南極地域観測隊気水圏系内陸旅行概要報告 | 齋藤隆志 ^o (京大防災研), 木下淳(小山高専), 神山孝吉(極地研) |

10月8日(水) 9:30~12:00
< B会場 > 口頭発表

雪崩, 森林(座長: 西村浩一, 納口恭明, 小杉健二)

- | | | |
|-------|-------------------------------------|--|
| B1-1 | 湿り積雪に於ける層内融解について | 伊藤文雄 ^o (福大教地科部), 北川博正(福井県自然保七), 香川喜一郎(福大教地科部) |
| B1-2 | 2002年に湯沢町芝原で発生した雪崩への対応 | 松井富栄 ^o ・町田誠 ^o ・岩崎剛(町田建設株), 町田敬(長岡技大) |
| B1-3 | 2003年に湯沢町芝原で発生した雪崩への対応 | 岩崎剛 ^o ・町田誠 ^o ・松井富栄(町田建設株), 町田敬(長岡技大) |
| B1-4 | 雪中爆破による積雪層への影響に関する2003年実験(1) | 町田誠 ^o (町田建設株), 川田邦夫(富山大), 早川典生 ^o ・林徹 ^o ・町田敬(長岡技大) |
| B1-5 | 雪中爆破による積雪層への影響に関する2003年実験(2) | 林徹 ^o ・早川典生 ^o ・町田敬(長岡技大), 町田誠(町田建設株), 川田邦夫(富山大) |
| B1-6 | 1960年代の雪崩実験を解析する | 早川典生 ^o (長岡技大), 加地智彦(国土環境株), 町田誠(町田建設株) |
| B1-7 | ブロック雪崩の運動形態と落下速度 | 庄司淳 ^o (新潟大大学院自然科学研究科), 和泉薫 ^o ・小林俊一 ^o ・根本征樹(新潟大災害研) |
| B1-8 | 雪崩予測手法の開発に向けて研究の方針 | 西村浩一(防災科研・雪氷), 馬場恵美子 ^o ・平島寛行(北大低温研) |
| B1-9 | 多雪山岳地域における局所的なシモザラメ雪層発達箇所への推定指標について | 池田慎二(株アルゴス) |
| B1-10 | 雪崩震動を利用した雪崩自動観測システム(3) | 秋山一弥 ^o ・武士俊也(土木研・新潟) |
| B1-11 | 積雪不安定斜面に階段工植栽された15年生スギの生育 | 山谷睦 ^o (日本地下水開発株), 金子義彦 ^o ・東海林隆(N-PSG), 大谷博彌(山形大農), 保坂良悦(山形大演), 塚原初男(山形大) |

10月9日(木)
< A会場 >

9:00 ~ 12:00
口頭発表

雪氷物理(座長:内田努)

- A2-1 氷変形中の小角粒界形成による結晶主軸方位の変化
大槻雄己^o(長岡技大大学院), 小野哲平(長岡技大大学院/現(株)ユニオンツール), 東信彦(長岡技大)
- A2-2 不凍糖蛋白質(AFGP)による氷結晶成長速度の促進効果
寺澤隆倫・古川義純^o(北大低温研), 横山悦郎(学習院大計算機セ)
- A2-3 雪を通過する物体にかかる抵抗
松本学^o(北大地球環境科学研究科), 荒川政彦・前野紀一(北大低温研)
- A2-4 ガスハイドレートの生成過程に対する添加物効果
池田育子・内田努^o・大村亮・三浦和紀・津田栄(産総研)

積雪の構造 物理,降雪(座長:尾関俊浩,西村寛)

- A2-5 高密度雪の圧縮実験()
上田雅敏(日本接点工業(株)), 水野悠紀子^o・荒川政彦・前野紀一(北大低温研)
- A2-6 降雪粒子の諸特性の新積雪密度への影響
梶川正弘^o・橋本正秀(秋田大工学資源学部), 猿渡琢(富士通東北SE), 金谷晃誠(第一建設工業)
- A2-7 雪の落とし穴
納口恭明^o・佐藤篤司(防災科研)
- A2-8 雪氷災害発生予測システムの構築に向けて
佐藤篤司^o・石坂雅昭・清水増治郎・小林俊市・納口恭明・西村浩一・中井専人・山口悟・岩本勉之・佐藤威・阿部修・小杉健二・望月重人(防災科研・雪氷)
- A2-9 非静力学モデルによる降雪再現実験
岩本勉之^o・中井専人・山口悟・清水増治郎・佐藤篤司(防災科研・雪氷)
- A2-10 積雪変質モデル(SNOWPACK)における感度実験
山口悟^o・岩本勉之・中井専人・佐藤篤司(防災科研・雪氷), Michael Lehning(Swiss Federal Institute for Snow and Avalanche Research)
- A2-11 つづみ型雪結晶の生成について
油川英明(北海道教育大・岩見沢)
- A2-12 多様な降雪粒子, その分類と自動検出の可能性
石坂雅昭^o(防災科研・雪氷), 椎名徹(富山高専), 村本健一郎(金沢大・工学部)
- A2-13 2003年1月4-5日の中越地域における降雪分布と降雪粒子
中井専人^o・石坂雅昭・岩本勉之・清水増治郎・佐藤篤司(防災科研・雪氷), 丸山敏介(新潟電機)

10月9日(木)
< B会場 >

9:00~12:00
口頭発表

雪氷化学(座長 鈴木啓助)

- B2-1 カナダ, ローガン山積雪中の鉛の同位体比
的場澄人^o(国環研), 瀬川高弘(東工大), 東久美子(極地研), 白岩孝行・金森晶作(北大低温研), 藤井理行(極地研)
- B2-2 過去30万年間における南極大陸内陸部への海塩起源成分の輸送過程 - ドームふじ氷床コア化学解析による
五十嵐誠^o・東久美子・金森悟・藤井理行・渡辺興亜(極地研)
- B2-3 人工降雪を用いた雪結晶成長に伴う水素・酸素安定同位体比の変動解析
植村立^o・松井洋平・吉田尚弘(東工大), 阿部修・望月重人(防災科研)
- B2-4 東シベリアの極地ツンドラ地帯における川水と湖水の安定同位体比
石井吉之^o(北大低温研), 杉本敦子(京大生態センター), 矢吹裕伯(地球観測フロンティア)

交通(座長 原文宏)

- B2-5 地下水流熱の採熱特性及び消雪効果
工藤智弥^o・土屋睦(日本環境科学株), 安彦宏人・小松義悦(日本地下水開発株)
- B2-6 多機能(排水性・透水性)舗装への無散水消雪システム導入に関する研究 - 融雪負荷(細氷)積載による実験 -
山口正敏^o・安彦宏人・沼澤喜一(日本地下水開発株), 横山孝男・渡邊洋・神谷和憲(山形大工学部)
- B2-7 効率的な凍結防止剤散布に関する調査(塩分濃度持続性試験)
武土俊也^o・小林一治(土木研 新潟試験所), 林健一(国土交通省 高田河川国道事務所)
- B2-8 冬期道路管理に関する共同研究 - GISを用いた路面温度予測について -
J.E. ソーンズ(バーミンガム大), 丸山暉彦(長岡技大), 杉村明(長岡国道事務所), 山田高史^o(北陸建設弘済会)
- B2-9 郊外部の吹雪情報提供実験
松沢勝^o・加治屋安彦・鈴木武彦・伊東靖彦(北海道開発土木研究所)

建築,着氷雪(座長 河島克久)

- B2-10 住宅の雪対策について(その4:新潟)
前田博司(福井工大)
- B2-11 積雪期における建物出入口近傍の水分およびすべり
相茶日出海^o・細川和彦・苫米地司(北海道工大)
- B2-12 着氷性の雨と凍雨の発生判断について
松下拓樹(株)自然環境科学研究所/千葉大大学院)
- B2-13 光切断法を用いた鉄道車両の着雪量測定装置の開発
河島克久^o・飯倉茂弘・遠藤徹・藤井俊茂(鉄道総研)

10月9日(木)
< A会場 >

13:00~17:00
口頭発表

降雪,気候(座長 大畑哲夫,兒玉裕二)

- A3-1 冬季北陸平野部での里雪型降雪の気象数値モデル実験と観測値との比較
清水智^o・熊倉俊郎・早川典生(長岡技大)
- A3-2 北陸でのひと冬にわたるAMeDASデータの可用性
熊倉俊郎^o・早川典生(長岡技大)
- A3-3 冬期間における,降雪パターンと黄砂現象との関係について
高井玄生^o・遠山和大・鶴田元気・川田邦夫(富山大)
- A3-4 冬期降水量に対する捕捉損失補正方式の検討
横山宏太郎^o・小南靖弘・川方俊和(農研機構北陸),大野宏之・井上聡(農環研)
- A3-5 降雪量に関する統計ダウンスケーリング手法の構築
和田浩治^o・加藤央之・門倉真二(電力中央研究所)
- A3-6 パナマ・ゲートウェイのクロージングによる北太平洋から北大西洋への深層水形成海域の交代とグリーンランド南東部での降雪の増加
本井達夫^o・陳永利・李亨模(地球観測フロンティア),阿部彩子(東大気候システム研究センター/地球観測フロンティア)
- A3-7 ユーラシア北方域の積雪からの昇華量
大畑哲夫^o(北大低温研/地球観測フロンティア),張寅生・鈴木和良(地球観測フロンティア),平島寛行(北大低温研)
- A3-8 大陸規模積雪と大気循環場との年々規模共変動
斉藤和之^o(地球観測フロンティア),Judah Cohen(AER),安成哲三(名大/地球観測フロンティア)
- A3-9 中国タクラマカン砂漠周辺の高山域におけるダストフラックス
阿部修^o・望月重人・山口悟・小杉健二・佐藤威・清水増治郎(防災科研・雪氷),徐俊栄・劉明哲(新疆生態地理研),魏文寿(ウルムチ砂漠気象)
- A3-10 通年計算を可能にしたツンドラ陸面モデル
平島寛行^o(北大低温研),大畑哲夫(北大低温研/地球観測フロンティア),兒玉裕二(北大低温研),矢吹裕伯(地球観測フロンティア)

融雪,雪渓,積雪分布(座長 大野宏之)

- A3-11 シベリア・ツンドラ域の河川流量に対する凍土融解水の寄与
野村睦^o(北大・北方生物圏フィールド科学センター),兒玉裕二・石井吉之・佐藤軌文(北大低温研),矢吹裕伯(地球観測フロンティア)
- A3-12 白山千蛇ヶ池雪渓の1981年以降の変動
伊藤文雄(福井大),小川弘司(石川県白山自然保護センター)
- A3-13 豪雪地帯の積雪時系列長期変動解析 - 横手市の事例 -
伊藤驍^o(秋田高専),藤井智里(岩手大)
- A3-14 GISを利用した広域積雪環境モデル(7) - 融雪・積雪水量モデルの総合化
水津重雄(株ジオシステムズ)
- A3-15 山形蔵王における雪氷現象の観測(平成14年度)
沖田圭右^o・沼澤喜一・山谷睦・原田俊明・武田能拓・安彦宏人(日本地下水開発株)

海氷・湖氷(座長 牛尾収輝)

- A3-16 バルト海・フィンランド湾での海氷観測(2) - 海氷の構造・性質と積雪の寄与の時間変動と年変動 -
河村俊行^o・白澤邦男(北大低温研),M.A.Granskog・M.Lepparanta・J.Ehn(ヘルシンキ大学)
- A3-17 「しらせ」砕氷航行データから見るリュツォ・ホルム湾の海氷変動
牛尾収輝(極地研)
- A3-18 積雪で覆われた海氷の凍結 - 融解くり返し実験
小嶋真輔^o・榎本浩之(北見工大)

利雪・売雪,吹雪(座長:白樫正高,小林俊市,佐藤威)

- | | | |
|-------|--|--|
| B3-1 | 液噴射型熱サイホン発電 | 対馬勝年(富山大) |
| B3-2 | 水平管内氷水混相流の流動様式 | 廣地武郎(鳥羽商船高専),山田修一・白樫正高(長岡技大) |
| B3-3 | 年齢層の異なる女性の除雪能力と身体資質について | 森田勲・山口明彦(北海道医療大),須田力(北大) |
| B3-4 | 新潟県における除雪作業中の事故リ | 上村靖司(長岡技大) |
| B3-5 | 雪氷災害リスク・マネジメント | 松田益義(MTS雪氷研究所) |
| B3-6 | 昭和20年以降の福井地域における雪害発生について | 杉森正義(福井大地域共同研究センター・福井県生コンクリート工業組合),川本義海(福井大工学) |
| B3-7 | 吹雪に伴う視程悪化の予測モデルの開発 | 佐藤威・岩本勉之・中井専人・佐藤篤司(防災科研・雪氷) |
| B3-8 | 降雪風洞による吹きだまりの再現(その6)吹きだまり形成に及ぼす床面粗度の影響 | 中静仁平(北海道工大),老川進(清水建設技術研究所),佐藤威(防災科研・雪氷),細川和彦・苫米地司(北海道工大) |
| B3-9 | 乱れ強さと吹きだまり性状に関する風洞実験 | 堤拓哉(北方建築総合研究所),苫米地司(北海道工大),高倉政寛(北方建築総研究所) |
| B3-10 | 跳躍層における過飽和粒子による雪の堆積 | 老川進(清水建設(株)技術研究所),苫米地司(北海道工大) |
| B3-11 | 吹雪浮遊層における雪粒子の乱流拡散係数 | 根本征樹(新潟大災害研),西村浩一(防災科研・雪氷) |
| B3-12 | 全球気象データセットを用いた吹雪による昇華の広域分布 | 杉浦幸之助(地球観測フロンティア),大畑哲夫(地球観測フロンティア/北大低温研) |

凍土・凍上(座長:武田一夫)

- | | | |
|-------|--|---|
| B3-13 | 蛍光X線分光分析によるアイスレンズ近傍のCd濃度分布の観察 | 渡辺晋生・中西健一(三重大) |
| B3-14 | 東シベリア・ヤクーツク近郊のカラマツ林及び森林攪乱地における活動層エネルギー収支解析 | 岩花剛(北大低温研),町村尚(大阪大),小林義和(科技団),福田正己(北大低温研) |
| B3-15 | 凍土の透水性・融雪水の浸透イベント観測 | 石川守・張寅生・門田勤・大畑哲夫(地球観測フロンティア),溝口勝(東京大) |
| B3-16 | 熱流方向に凍結膨張圧が作用する三軸凍上実験 | 上田保司・生瀬孝博(株精研) |
| B3-17 | 凍着剪断強度に及ぼす垂直応力の影響 - 砂凍土と鉄材の場合 - | 森内浩史・上田保司・生瀬孝博(株精研) |

10月10日(金) 9:30~12:10
 ポスター発表 第1部
 9:30~10:40 1分間ポスター紹介 (座長: 東 信彦)

雪氷物理1

- | | | |
|------|---|---|
| P1-1 | SiO ₂ 微粒子を含んだ氷の定歪速度押し出し変形実験 | 吉川聡 ^o (長岡技大大学院), 船木一人 (長岡技大大学院/現・横浜ブリッジ), 東信彦 (長岡技大) |
| P1-2 | オホーツク海の天然ガスハイドレートの結晶構造解析 | 竹谷敏 ^o ・内田努・海老沼孝郎 (産総研), Tatiana Matveeva・庄子仁 (北見工大), Dr. A. I. Obzhirov (V. Ilyichev's Pacific Oceanological Institute), Dr. N. Biebow (TETHYS Geoconsulting GmbH) |
| P1-3 | バイカル湖で採取された天然ガスハイドレートのCP - MAS ¹³ C - NMRによる構造解析 | 木田真人 ^o ・坂上寛敏・南尚嗣・布川裕・高橋信夫・Tatiana Matveeva・庄司仁 (北見工大), 竹谷敏・鎌田慈・海老沼孝郎・成田英夫 (産総研), Mikhail Grachev (Limnological Institute) |
| P1-4 | Xe clathrate hydrate 解離過程のその場観察 | 島田亙 ^o ・海老沼孝郎・竹谷敏・内田努・鎌田慈・長尾二郎・皆川秀紀・大村亮・成田英夫 (産野村耕介 ^o ・古川義純 (北大低温研)) |
| P1-5 | 不凍タンパク質 (AFP Type) 水溶液中で成長する氷結晶の形態と成長速度の測定 | |
| P1-6 | Dome Fuji コアの内部摩擦 | 林勇介 ^o ・小黒貢 (北教大旭川), 本堂武夫 (北大低温研), 前晋爾 (旭川高専) |

積雪の構造 物理1

- | | | |
|-------|--|--|
| P1-7 | 雪試料の弾性的性質の温度特性と焼鈍効果 | 竹井巖 ^o (北陸大), 前野紀一 (北大低温研) |
| P1-8 | 湿潤積雪地域への積雪変質モデル (SNOWPACK) の適応 - 現状と課題 - | 山口悟 ^o ・佐藤篤司 (防災科研・雪氷), Michael Lehning (Swiss Federal Institute for Snow and Avalanche Research) |
| P1-9 | 表計算ソフトによる積雪深の計算方法 | 遠藤八十一 ^o ・小南裕志・山野井克己・竹内由香里・村上茂樹 (森林総研) |
| P1-10 | 雪粒子の成長速度と含水率の関係 | 橋本重将 ^o (名大), 清水増治郎 (防災科研・雪氷), 宮崎伸夫 (クライメットエンジニアリング), 中尾正義 (地球研) |
| P1-11 | アラスカ・バローにおける積雪物理量と雪面アルベドの測定 | 本吉弘岐 ^o (株スペースサービス), 青木輝夫 (気象研), 堀雅裕 (宇宙開発事業団), 飯塚康子 (総研大大学院), 谷川朋範 (筑波大大学院), 中島幸徳 (リモートセンシング技術センター) |

雪崩1

- | | | |
|-------|---------------------------------|--|
| P1-12 | 関東・甲信越地方における雪崩地形の分布と形態的特徴 | 関口辰夫 ^o (国土地理院), 秋山一弥 (土木研究所) |
| P1-13 | 航空機搭載型レーザープロファイラを用いた雪崩堆積深の測定 | 岩男忠明 (四国山地砂防事務所), 寺田秀樹 (国土技術政策総研), 本間信一 ^o (国際航業株) |
| P1-14 | 樹木の雪崩予防効果に関する検討 | 小林一治・秋山一弥・武士俊也 (土木研新潟試験所), 春山哲也 ^o ・池田慎二・上石勲 (株アルゴス) |
| P1-15 | 2002 - 03冬季 谷川岳における雪崩の発生状況とその原因 | 永井拓三 ^o ・和泉薫 (新潟大災害研), Nathan Bennett (MTB Japan) |

森林1

- P1-16 スギ実験木を用いた冠雪観測 冠雪が発達する気象条件
P1-17 道路法面に生育する樹林の冠雪による倒伏とその対策について

嘉戸昭夫[°](富山県林業技術センター), 石坂雅昭(防災科研・雪氷)
斎藤新一郎(環境林づくり研究所)

雪渓1

- P1-18 2003年6月に白馬大雪渓上で発生した土石流

秋山一弥[°]・武士俊也・丸山清輝・小嶋伸一・佐藤宗吾(土木研・新潟)

積雪分布1

- P1-19 メッシュ気候値2000(最深積雪)は温暖化の兆候を示しているか？
P1-20 積雪地域における冬期降水量分布
P1-21 中央アルプス北部における積雪深調査 - 標高別積雪分布および樹木に見られる現象について -

井上聡[°](農環研), 横山宏太郎(中央農研北陸)

清水増治郎(防災科研・雪氷)
伊東義景[°]・新田隆三・明石浩司(信州大農学部), 戸田直人・前原徹

降雪1

- P1-22 日本海側地域における冬期間の気温変動に伴う降水状況についての研究
P1-23 結晶形別の終端落下速度と粒径の関

稲毛宏壽[°]・川田邦夫(富山大雪氷学研究室)

佐藤研吾[°]・高橋修平(北見工大)

雪氷化学1

- P1-24 降雪および積雪中の過酸化物濃度の測定
P1-25 積雪内のイオン濃度変動の固液分離による検討
P1-26 新潟県長岡市の冬期の降水中に含まれる重金属元素

名取千晶[°]・渡辺幸一・武部裕作・岩井亜弓美・竹田希美(富山県立大・短大部)
土井政人[°](山形大大学院農学研究科), 飯田俊彰・梶原晶彦(山形大農)
的場澄人[°](国環研), 佐藤和秀・新保有佳子・滝澤和恵・今井文彦・片山智樹(長岡高専)

氷河1

- P1-27 寒冷山岳氷河の流動場 - コアの物理特性からのアプローチ -
P1-28 カナダ, ローガン山フィルン層の詳細密度プロファイル
P1-29 カナダ, ローガン山における生物起原物質を指標としたピット解析
P1-30 中国祁連山における斜面日射の推定と氷河質量収支
P1-31 南米・北パタゴニア氷原の涵養季節はいつか？

白岩孝行[°]・金森晶作(北大低温研), 東久美子(極地研), 的場澄人(国環研), 瀬川高弘(東工大)
金森晶作[°]・白岩孝行・堀彰(北大低温研), 東久美子(極地研), 的場澄人(国環研), 瀬川高弘(東工大), 成瀬廉二(北大低温研)
瀬川高弘[°]・幸島司郎(東工大), 的場澄人(環境研), 東久美子(極地研), 白岩孝行・金森晶作(北大低温研), 藤井理行(極地研)
坂井亜規子[°]・藤田耕史・松田好弘(名大環境), 青木輝夫(気象研)
安仁屋政武[°](筑波大・地球科学系), 谷川朋範(筑波大・大学院博士課程生命環境科学研究科)

氷床1

P1-32 X線CTスキャナを使用した浅層コア年代決定の検証

武藤淳公・西尾文彦・直木和弘(千葉大), 五十嵐誠・本山秀明(極地研), 亀田貴雄(北見工大), 瀬尾邦彦(日立メディコテクノロジー), 村瀬貴之(日立メディコアプリケーショングループ)

気候1

P1-33 シベリアタイガ林における冠雪のモデル研究

山崎剛^o・矢吹裕伯(地球観測フロンティア), 大畑哲夫(北大低温研/地球観測フロンティア)

P1-34 ツンドラ植生地の水・エネルギー循環過程()

佐藤軌文^o・兒玉裕二・石川信敬・石井吉之・大畑哲夫(北大低温研)

衛星観測1

P1-35 GLIデータを用いた積雪物理量の解析と地上検証観測

堀雅裕^o(NASDA/EORC), 青木輝夫(気象研), 谷川朋範(筑波大), 飯塚康子(総研大), 本吉弘岐(スペースサービス), 中島幸徳(RESTEC)

P1-36 航空機搭載三次元映像レーダ(Pi SAR)データによるサロマ湖氷の観測

中村和樹^o(通総研), 若林裕之(宇宙開発事業団), 西尾文彦(千葉大), 松岡建志・浦塚清峰(通

海水・湖氷1

P1-37 核磁気共鳴影像法(MRI)による海水の内部構造の観察

河村俊行^o(北大低温研), 尾関俊浩(北教大岩見沢校), 金子順一(農技研・北農研セ)

P1-38 船上観測データによる南極リュツォホルム湾夏季定着氷厚の年々変動

宇都正太郎^o・下田春人・泉山耕(海技研)

凍土・凍上1

P1-39 モンゴル・ナライハの永久凍土と比抵抗について

原田鉦一郎^o(宮城県農業短大), 和田一成(三井金属資源開発(株)), 福田正己(北大低温研)

P1-40 北海道置戸町鹿ノ子ダム左岸の凍土

曾根敏雄(北大低温研)

融雪1

P1-41 多雪山地流域の山腹斜面における地中水の挙動

山崎学^o・石井吉之(北大低温研)

P1-42 森林伐採による融雪流出の変化について

野村睦^o・高橋廣行・菅田定雄・笹賀一郎・柴田英昭・高木健太郎・杉下義幸・北條元・芦谷大太郎・浪花彰彦(北大・北方生物圏フィールド科学センター), 藤沼康実(国環研)

P1-43 融雪に起因した土砂災害の予知予測に向けての観測について

柴田真理^o・井良沢道也(岩手大農学部)

着氷雪1

P1-44 2003年1月上旬の雪氷災害とそのときの気象状況

佐藤篤司^o・中井専人・岩本勉之・石坂雅昭・清水増治郎(防災科研・長岡), 丸山敏介(新潟電気), 長谷美達雄(雪氷科学)

P1-45 電線表面状態と着氷・落氷特性

菅原宣義^o・土方正範(北見工大)

P1-46 海水飛沫着氷のNMRマイクロイメージング

尾関俊浩^o(北教大岩見沢校), 巨瀬勝美・松田善正(筑波大), 拝師智之(MRテクノロジー), 中坪俊一(北大低温研)

利雪・売雪1

- P1-47 粉殻を用いる雪山断熱被覆の伝熱過程
庄山武志[°](長岡技大大学院), 上村靖司(長岡技大), 中村洋一(電源開発株)
- P1-48 データベース化による雪室・氷室の分布とその気候学的立地条件の解明
和泉薫[°]・小林俊一(新潟大・災害研), 石坂雅昭(防災科研・長岡)
- P1-49 雪貯蔵施設への雪輸送技術に関する研究(その3) - 可搬型雪輸送実験装置の輸送能力 -
小林俊市(防災科研・雪氷)

交通1

- P1-50 道路雪氷へ与える車両の影響(その1) - 圧雪の圧密過程の特性調査 -
小林俊市[°]・小杉健二・佐藤威・望月重人(防災科研・雪氷)
- P1-51 道路雪氷へ与える車両の影響(その2) - 車両の後流内の風と周囲気温の観測
佐藤威[°]・小杉健二・望月重人・阿部修・小関三治(防災科研・雪氷)

吹雪1

- P1-52 風洞装置を用いた吹雪における雪粒子の昇華再現実験
杉浦幸之助[°](地球観測フロンティア), 佐藤篤司(防災科研・雪氷), 前野紀一(北大低温研)
- P1-53 昭和基地主要部のスノウドリフト観測
高橋弘樹[°]・鮎川勝(極地研), 半貫敏夫(日大理工学部)
- P1-54 Large Eddy Simulationによる地吹雪の数値計算 - k- モデルとの比較 -
畠山拓治[°]・井上実・佐藤隆光(日本気象協会)

建築1

- P1-55 屋根上積雪分布に関する人工吹雪風洞実験 - 二段屋根建築物について
田川洋介[°](日大大学院), 三橋博巳(日大理工学部), 高橋裕輝(日大大学院), 佐藤篤司(防災科

計測1

- P1-56 レーザースキャナによる積雪状況の観測
村田豊世[°]・飯田泰久・酒井匡・小峯知泰(ビッグ測量設計株)
- P1-57 2003冬季の1分降雪強度計測 - 田村式降雪・降雨強度計を用いて -
田村盛彰(田村雪氷計測研究所)
- P1-58 積雪内の力学特性測定
貴堂靖昭[°]・高田英治[°]・永森雅人[°]・石谷政治(富山高専), 川田邦夫(富山大), 丸山敏介(新潟電気)
- P1-59 通風筒を使用しない気温測定値の補正の試み
高山拓也[°]・高橋修平(北見工大)

教育普及1

- P1-60 断熱膨張法による氷晶の生成
阿部順行[°]・高橋忠司(埼玉大・教育)
- P1-61 多様な降雪粒子を見る - 長岡に降った雪から -
石坂雅昭[°]・佐藤篤司(防災科研・雪氷)
- P1-62 雪氷科学実験教室の長岡での試み
加藤正明(長岡市立科博)
- P1-63 静止気象衛星可視画像の擬似カラー化技法
菊地時夫(高知大理学部)

10月10日(金) 13:10~15:50
 ポスター発表 第2部
 13:10~14:20 1分間ポスター紹介 (座長:上村靖司)

雪氷物理2

- | | | |
|------|----------------------------------|---|
| P2-1 | 氷結晶粒成長速度に対する不純物の影響 | 横山周平 ^o ・小関健司(長岡技大大学院), 東信彦(長岡技大) |
| P2-2 | 再結晶氷の粒界移動速度に対する不純物の影響 | 小関健司 ^o (長岡技大大学院), 東信彦(長岡技大) |
| P2-3 | 復氷過程で発生する蒸気泡と内部融解像との比較 | 田中るみ ^o ・対馬勝年(富山大) |
| P2-4 | トレハロース水溶液の融点測定 | 清忠師 ^o ・権田武彦・有馬義康(愛知学院大) |
| P2-5 | インサイドドラム摩擦試験機による氷・氷摩擦の測定 | 二瓶光弥 ^o (産総研), 前野紀一・荒川政彦(北大低温研) |
| P2-6 | THFハイドレート生成過程におけるフリージングポテンシャルの発生 | 長島和茂 ^o ・水見尚人(明大物理), 山本佳孝(産総研) |

積雪の構造 物理2

- | | | |
|-------|--|--|
| P2-7 | 雪面の熱赤外域分光放射特性の測定 | 堀雅裕 ^o (NASDA/EORC), 青木輝夫(気象研), 谷川朋範(筑波大), 飯塚康子(総研大), 本吉弘岐(スペースサービス), 中島幸徳(RESTEC) |
| P2-8 | 風によって生じる乱流拡散を考慮した積雪層内CO ₂ 濃度予測モデル | 小南靖弘 ^o ・横山宏太郎・川方俊和(農研機構北陸) |
| P2-9 | 積雪層構造モデルの開発と衛星データの利用 | 齋藤佳彦 ^o ・榎本浩之・山本徹(北見工大) |
| P2-10 | 山地積雪層構造の標高による違いと推定方法 | 竹内由香里 ^o (森林総研十日町), 山口悟(長岡雪氷防災研), Michael Lehning(Swiss Federal Institute for Snow and Avalanche Research) |
| P2-11 | 温度勾配をつけた積雪層内における水蒸気輸送 | 中川篤史 ^o (長岡技大大学院), 嵯峨浩美(長岡技大大学院/現・京都府綾部市立綾部小学校), 東信彦(長岡技大) |

雪崩2

- | | | |
|-------|--|--|
| P2-12 | 超低周波マイクロフォンを使用した雪崩観測 | 今西伸行 ^o (北大低温研), 西村浩一(長岡雪氷防災研), 森谷武男(北大理学研究科), 山田知充(北大低温研) |
| P2-13 | 現地計測による流下雪崩の動態観測 | 秋山一弥 ^o ・武士俊也(土木研・新潟) |
| P2-14 | 雪崩予測手法の開発に向けて - ニセコ(2002-2003年冬期)の観測結果から - | 馬場恵美子・平島寛行(北大低温研), 西村浩一(防災科研), Michael Lehning(SFISAR), 新谷暁生・石川太・太田稔(ニセコ雪崩調査所) |
| P2-15 | 長野県乗鞍スーパー林道で発生した雪崩 | 山口悟 ^o ・西村浩一・納口恭明・佐藤篤司(防災科研・雪氷), 和泉薫(新潟大・災害研), 村上茂樹・山野井克己・竹内由香里(森林総研十日町), Michael Lehning(Swiss Federal Institute for Snow and Avalanche Research) |
| P2-16 | 人工環境下での温度勾配変態過程における積雪剪断強度の変化 | 阿部修 ^o ・望月重人(防災科研・雪氷) |

森林2

P2-17 低木広葉樹林の林分改良のための施業と植栽木の成長

山野井克己[°]・庭野昭二・村上茂樹(森林総研十日町), 遠藤八十一(元森林総研十日町), 野表昌夫(新潟県長岡林業事務所)

積雪分布2

P2-18 新潟県中越地域の降積雪分布

清水増治郎(防災科研)

P2-19 南空知平野部の広域積雪特性に関する調査研究

尾関俊浩[°](北教大岩見沢校), 山口悟(防災科研長岡), 田中圭輔(多度志中), 山田知充(北大低温研), Michael Lehning(SLF)

降雪2

P2-20 北海道における短期間降雪と積雪深

渡邊誠[°]・榎本浩之(北見工大)

P2-21 アラスカ・Barrowにおける雪粒子終端落下速度

佐藤研吾[°]・高橋修平(北見工大), 杉浦幸之助(地球観測フロンティア), 大畑哲夫(地球観測フロンティア/北大低温研)

P2-22 加熱, 加湿による湿雪降雪作製実験

小林俊市[°]・阿部修・望月重人・佐藤篤司(防災科研・雪氷)

雪氷化学2

P2-23 北アルプス源流域の融雪期における河川水中の化学成分濃度変化

倉元隆之[°]・市原弘貴・吉田泰之・鈴木啓助(信州大)

P2-24 中部山岳地域における冬季降水の化学物質濃度変動

横山勝丘[°]・鈴木啓助(信州大理学部)

P2-25 南極氷床, H72および Dome South両コアにおける化学成分濃度詳細分析

安斎香[°]・鈴木啓助(信州大), 五十嵐誠(極地研)

氷河2

P2-26 氷河コア中の花粉を利用した季節別降水量変動復元の可能性

中澤文男[°]・藤田耕史(名大), 植竹淳(東工大), 藤木利之(国際日本文化研究センター), 竹内望(地球研), Vladimir Aizen(University of Idaho, Moscow), 中尾正義(地球研)

P2-27 衛星データを用いたヒマラヤ山脈における氷河湖の台帳作成と変動解析

佐藤成行[°]・山田知充・白岩孝行・成瀬廉二(北大低温研)

P2-28 南極ドームふじコアによる古環境変動の周期性

佐藤和秀[°](長岡高専)・渡邊興亜・藤井理行・神山孝吉・本山秀明・古川晶雄・五十嵐誠(極地研), 金森悟(元名大水圏研)

P2-29 カムチャツカ半島カレイタ氷河の水収支特性

松元高峰[°]・成瀬廉二・紺屋恵子(北大低温研), 山口悟(防災科研・雪氷), 山田知充(北大低温研), Muravyev, Y.D.(Inst. Volcanology, RAS)

P2-30 2002年ブータン・ヒマラヤにおけるD型氷河と気象の調査

内藤望[°](広島工大), 鈴木亮平・中澤文男(名大), 植竹淳(東工大), 牛田一成(京都府大), 山田和充(北大低温研), Karma・Indra K. Chhetri・Lobzang Gyenden(Geological Survey of Nepal), 小森次郎[°]・Deo Raj Gurung・岩田修二(都立大), 矢吹裕伯(地球観測フロンティア)

氷床2

P2-32 X線ラウエ法を用いた氷床コアの結晶方位測定

宮本淳[°]・本堂武夫(北大低温研), 庄子仁(北見工大)

P2-33 南極ドームふじ観測拠点周辺の堆積環境(その2)

本山秀明[°](極地研), 南極堆積環境グループ

気候2

- P2-34 南極ドームF氷床コアから見積もった過去32万年間のダストによる放射強
P2-35 ツンドラ陸面モデルを用いた気候変化に対する感度実験
- 青木輝夫[°] (気象研), 藤井理行(極地研)
平島寛行[°]・大畑哲夫(北大低温研)

衛星観測2

- P2-36 衛星による海氷パラメータ検出のためのビデオ画像解析
P2-37 人工積雪の波長別アルベド測定値と理論計算値の比較
- 直木和弘[°] (千葉大), 中山雅茂(宇宙開発事業団地球観測利用研究センター), 下田春人(海上技術安全研究所), 武藤淳公・西尾文彦(千葉大)
谷川朋範[°] (筑波大大学院), 青木輝夫(気象研), 八久保晶弘(北見工大), 堀雅裕(宇宙開発事業団), 阿部修・望月重人(防災科研), 安仁屋政武(筑波大地球科学系)

海氷・湖氷2

- P2-38 衛星リモートセンシングによるユーラシア大陸の湖の解氷日の推定(2001 - 2003)
- 野中崇志[°] (東工大), 松永恒雄(国環研), 梅干野晃(東工大)

凍土・凍上2

- P2-39 熱流方向の凍結膨張圧を取り込んだ三軸凍結膨張解析
P2-40 凍着剪断切れ時の歪に及ぼす温度の
P2-41 メタンハイドレート模擬堆積物試料の作成実験
- 上田保司[°]・生瀬孝博(株精研)
森内浩史[°]・上田保司・生瀬孝博(株精研)
鎌田慈[°]・海老沼孝郎・E.M.Chuvilin・島田亙・竹谷敏・皆川秀紀・大村亮・内田努・長尾二郎・成田英夫(産総研)

融雪2

- P2-42 亜高山帯流域(岩手県八幡平)における積雪・融雪観測について
P2-43 融雪期に降雨が生じた時の積雪下面
- 堀越綾子[°] (岩手大大学院農学研究科), 井良沢道也(岩手大農学部)
穴戸真也[°]・石井吉之(北大低温研)

着氷雪2

- P2-44 道路標識の着雪防止に関する研究
P2-45 日本における着氷性降水と凍雨の発生率の分布
P2-46 車体形状の変更による車両の高速走行に伴う濡れ雪の舞い上がり抑制方
P2-47 GPSアンテナへの着氷雪が測位に及ぼす影響
- 苫米地司[°] (北海道工大), 境野剛・清水満(小糸工業株), 中静仁平(北海道工大)
松下拓樹(株自然環境科学研究所/千葉大大学院)
飯倉茂弘[°]・井門敦・河島克久・遠藤徹・藤井俊茂(鉄道総研)
河島克久[°]・山本春生・飯倉茂弘・遠藤徹・藤井俊茂(鉄道総研)

利雪・克雪2

- P2-48 雪室内の野菜の糖度変化と断熱材の評価
P2-49 路面融雪装置の設計融雪負荷
- 松原一郎[°]・小林俊一・和泉薫(新潟大), 小林俊市(防災科研・長岡), 大矢敏之(小千谷市)
上村靖司(長岡技大), 小林寛幸(長岡技大工), 高塚俊宏・栗山義也[°] (長岡技大大学院)

交通2

- P2-50 地下水節水型消雪パイプの現場試験とインターネット利用によるデータ
P2-51 含水状態にある道路雪氷の変質に関する実験と観察
P2-52 道路吹雪対策マニュアル改訂への取り組み
- 福嶋祐介[○](長岡技大), 木本二郎(長岡市), 酒井龍市(ウエブドゥ)
中沢伸樹[○]・小船井宏剛・小林俊一・和泉薫(新潟大災害研), 阿部修(防災科研)
伊東靖彦[○]・松沢勝・加治屋安彦(北海道開発土木研究所)

吹雪2

- P2-53 吹雪の発達に関する風洞実験(9) - 粒径別跳躍運動の観察 -
P2-54 南極における地吹雪による積雪再配分の見積もり
P2-55 吹雪質量フラックス分布と吹雪の運動形態との関連について
- 小杉健二[○]・佐藤威・西村浩一・佐藤篤司(防災科研・雪氷)
芝木由昭[○]・高橋修平(北見工大)
根本征樹[○](新潟大災害研), 西村浩一(防災科研・雪氷)

建築2

- P2-56 南極昭和基地観測棟構造ガスケットの耐久性
- 高橋弘樹[○]・鮎川勝(極地研), 半貫敏夫(日大理工学部), 大塚徹・田村和俊(タケチ工業ゴム)

計測2

- P2-57 積雪重量計のメタルウェファークニットの小型化について
P2-58 光切断法を用いた降雪種情報の取得
P2-59 フルイを用いた積雪粒度ゲージ
- 羽賀秀樹[○]・石丸民之永(新潟電気株), 佐藤威・望月重人(防災科研・雪氷)
山崎健・谷川由・加田渉・椎名徹[○](富山高専), 石坂雅昭(防災科研・長岡), 村本健一郎(金沢大工学遠藤八十一[○]・竹内由香里・山野井克己・村上茂樹・庭野昭二(森林総研・十日町)

教育普及2

- P2-60 デジタルカメラを使用した雪粒の撮影について
P2-61 学習テキスト《「雪と遊ぼう」実験教室》とその活用
P2-62 新科学館に設置予定の低温実験室
P2-63 文学表現による過去の積雪深の推定 - その1 雪のイメージに関するアンケート調査 -
- 池田慎二(株アルゴス)
神田健三(雪の科学館), 竹井巖(北陸大)
佐々木恵一(旭川市青少年科学館), 平松和彦(旭川西高校)
松村光太郎[○](小山高専), 上村靖司(長岡技科大), 柴田美由紀(小山高専), 千葉幸一郎(宮城高専)